



村内の獣害対策に日々尽力いただいています。同日に安全祈願を行い今年度の活動をスタートしました。

鳥獣被害対策実施隊が 新年度の活動をスタート

4月4日、村役場で『飯館村鳥獣被害対策実施隊』の委嘱状交付式が行われました。式では杉岡村長が、24人の隊員に委嘱状を交付。隊長に原田直志さん(深谷)、副隊長に高野秀春さん(大倉)を、どちらも再任で選出しました。また、杉岡村長が「皆さんの尽力により、農林業における鳥獣被害が軽減されている」と感謝を述べ、原田隊長が「今年度も1年間、事故やけがのないよう頑張っていきたい」と意気込みを語りました。同隊は令和6年度にイノシシ186頭、サル135頭、その他379頭の捕獲を行っています。

長泥曲田地区の一部で 新たな避難指示解除

長泥曲田地区に整備された堆肥製造施設の用地と、燃料ペレット用の資源作物を栽培する周辺の農地、合わせて約6.2haについて、令和7年3月31日、避難指示が解除されました。住民が居住しない土地について、安全を確保した上で避難指示を解除する「土地活用スキーム(枠組み)」を活用した解除です。地域の再生と活性化を目指す村の企業誘致に应运えてこの地で創業したイイタテバイオテック株式会社が、解除に伴い本格稼働しました。解除された除染済みの農地では、資源作物の栽培が始まります。



避難指示解除と共に本格操業を開始したイイタテバイオテック株式会社。地域の活性化も期待されます。



規律訓練を行い、分団ごとに整列した団員の皆さん。検閲官の杉岡村長、川村団長らが検閲を行いました。

飯館村消防団が関係機関と 春季検閲式を実施

4月20日、南相馬消防署飯館分署の南側駐車場で、『令和7年飯館村消防団春季検閲式』が行われました。式には消防団員72人、役場消防隊10人の計82人が参加しました。

式では、新たに着任した川村仁団長(関根・松塚)が、「住民が安心して生活できることを願い、より一層の奮起を。大規模森林火災が各地で発生しており、日頃の備えを万全に、活動を進めてほしい」と述べ、団員らの士気を高めました。訓練と検閲に続いて、永年勤続の表彰も行われました。

「日本で最も美しい村」連合 村の幹線道路に看板を設置

「日本で最も美しい村」連合は、フランスの素朴な美しい村を厳選して紹介する「フランスの最も美しい村」運動に共鳴し、平成17年に設立されました。「小さくても素晴らしい地域資源や美しい景観を持つ村」が、日本の農山漁村の景観・文化を守りながら“最も美しい村”として存続していくための運動を展開しています。

飯館村は平成22年から同連合に加盟しています。この取り組みをより広く知っていただこうと、今年3月、村の東西の入り口に、同連合の看板を設置しました。



看板は、二枚橋地区と八木沢地区の県道原町川俣線沿いに設置されました(写真は八木沢地区)。



式の後、杉岡村長、中川副村長との記念撮影が行われました。前列右側が三浦さん、後列右側が森所長。

自衛官募集相談員 三浦盛さんに委嘱状を交付

4月22日、村役場で、「自衛官募集相談員委嘱式」が行われました。委嘱状を交付されたのは、今回で12期目となる三浦盛さん(小宮)です。式には、自衛隊福島地方協力本部相双地域事務所長の森美樹さん、副所長の福島真実さんが出席しました。相談員は、自衛官になりたい人と自衛隊とのパイプ役を務めます。杉岡村長は「豊富な経験を生かし、多くの方に自衛官の活動をPRしていただきたい」と、森所長は「募集相談員の強みである地域における情報収集力を生かして募集をしてほしい」と期待を述べました。

飯館村固定資産評価審査委員 林英滋さんに辞令を交付

4月1日、林英滋さん(白石)に、固定資産評価審査委員の辞令を交付しました。

飯館村の固定資産評価審査委員は、林さんを含め3人です。委員の皆さんは、固定資産の評価に関する申し立てに応じて召集され、飯館村固定資産評価審査委員会の一員として、中立的な立場で事案の審査を行います。林さんは、「少しでも村の役に立てればと思いお引き受けしました」と話していました。林さんの任期は令和10年3月31日までの3年間です。どうぞよろしくお願いいたします。



辞令交付式は村長室で行われ、杉岡村長が林さんに固定資産評価審査委員の辞令を手渡しました。